

現州統領の イグアペ視察

イグアペ植民事業に對する批

事業に對する批評（一回）

葡人との對比して、直ちに何れが可なるかを斷するに躊躇するものなり。如く聖都より遠距離に在らずして吾人の見解にては總ての事皆實物説隔離的の性質を帶びず。亦伯國人の必要を認めず。但し百聞一見によりて有効に組織せられ且つ統治若かず云ふ諺あれば統領一行のられつゝあり。

今回の旅行は必ず眼より入れる或るものを感じたるなるべし。

州統領の视察せる植民地は既に伯國の領土に日本の一角落を作れり。植民は勤勉にして富めり。彼等は強壯にして快活に確信あり。美しき清潔なる家に住居せり。斯くて舊き伯國人は漸々淵落しつゝある海岸地帶に於て、日本人は美しき稻畑を最も興味を有する所なり。(つづ)

NOTÍCIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H. S. PAULO
瀨木商店店
Y. SEGUI
CAIXA POSTAL, 171, S. PAULO

好評嘖々
語ルジラ・ラブ
講習錄
出版廣告

實價は一部拾ミルレース外に送料(書留料共)一ミル
發送は着金後直ちに正確に取り扱つて居ります
殘部が少なくなりましたから速かに御注文を乞
送付
賣所白刃西兩寺取扱

特に会話の部には實用向きの話澤山に載せまし
附録には日伯兩語の諸願、諸届書の雑形を網羅
又日伯兩語の藥名、使用及病名便覽を添へまし

人道上何等差別の待遇を爲す可からずと主張するも、日本人の胸中には常に極東の國民云々精神の存する事を知らざる可からず。從來並に將來吾人の生活に缺く可からざる調和の觀念を破壊するや否やは、葡人とごも植民地はサンバウロの土地に比較して初めて識らるべきものなり。吾人は敢て反抗の念を日本人に有する者にあらず。寧ろ尊敬の念を有するなり。但だ歴史上、習慣上、言語上、及教育上一層吾人と密接の關係を有し、互に了解し易く尙ほ少くとも體形上、道德上吾人と同化し易き植民地は、日本人植民其性質を

此の地帶に勢力浸漬したる日本人となり。アリ。

卷之三

△今週の外電△

△米獨講和行惱△

諸國いづれも伯國より生牛及牛肉、牛皮の輸入を禁じつゝありし處、葡

萄牙政府は愈々伯國牛疫の絶滅を認め二十五日右禁制を解除し佛國政府

就き再び討議せり、ロツダ氏曰く、此條約を批准せざる事は米獨間の現

下の好ましからざる關係を長引かす

ものなりと、而して此條約は北米を

して歐洲問題の渦中に投せしむるも

のなりとの説を駁撃せり、

ロツダ氏に答へて曰く、該條約は明

確に歐洲問題に參與するの義務を北

米に負はるものにして、批准終らば

亦二十六日を以て同様解禁の旨發表

ありたり

△華府會議日本委員△

二十日東京電報に依れば、東京

諸新聞紙は華盛頓會議出席の日本委

員として加藤友三郎大將、駐米大使

幣原喜重郎男、駐英大使林權助男及

駐佛大使にして、國際聯盟實行委員長

なる石井菊次郎子の四氏任命せられ

たる事を報せり

又二十八日電報は徳川家達公、加藤

友三郎大將及幣原喜重郎大使の三名

の任命を報じ來れり

△マカオ事件△

本月二十二日葡領憲港コラッバ島間

の水道を武装せる支那一汽艇通過の

際、葡國官憲の注意を蔑視したるのみ

ならず八名の艇員同島へ上陸し多數

の支那人を叫合して取調べに向ひし

たり

△貿易と爲替△

本月二十二日葡領憲港コラッバ島間

を殺し四名を負傷せしめたるより葡

國側は直ちに機關銃を以て應戦し遂

に支那人を撃退したり、媽港總督は

南支那政府に之を報じ損害賠償金を

要求したるが廣東政府は断乎として

之を拒絶せしのみ却つて敵對行動

を執り七千の兵を媽港附近に集中し

つゝあるより、葡國政府に於ては二

十六日巡洋艦『レーピーブリカ』を派遣

し同地保護の任に當らしむる事にし

たり

△華府會議と討議問題△

本月二十二日紅育電報曰く『トリビュ

ン』紙の報する處に依れば北米官邊

に於ては華府會議の眼目なる軍備制

限よりも太平洋及極東問題を重大視

せるものゝ如く又輿論も此兩問題に

して満足なる解決を得ずんば最早や

の希望は

支那に於ける門戸開放主義維持

山東省を支那へ還附する事

二、ヤップ島問題を解決する事

四、日本をして其占領せる西伯利の

領土を拋棄せしむる事

五、北米は永久に日本移民の入國に

止りなるべく十片は期待の最高なり

むる事

六、日英同盟條約の解決

の六ヶ條なり

△伯國牛輸入解禁△

先頃伯國に於て牛疫流行の爲歐洲

船名

アメリカントリーウヨン

ゲエストリス

サンドクロス

サマサリ

タコマ丸

リオ

ナトール丸

リオ

十月十二日

同二十三日

船名

出港港

出帆日

十一月廿七日

十一月廿六日

一月十六日

△獨逸銀行營業擴張△

獨逸海外銀行は十月一日より更にサ

ントス及クリチバに支店を開設する

旨發表したり

△亞國の外債△

國務長官ヒューズ氏は大統領選舉に

アーロード

リオ

トマホーク

リオ

同二月

最上

同上

伯刺西爾曠原の探險

米國 テラドルルーズベルト著

不明の川を赤道
森林に突破し降る

(二)
乾燥期のみに來り住するインヂヤ人
の小部落あり、木の切り口を見るに

斧、小刀を使用せる事明かにして、
煙にはミーリヨ、豆、棉等生へ居れ

り、森林中は半點滴し水蒸氣多し、
ゴム樹多く或樹は黃白色或は赤色の

花咲き摘へり、大なる根は皆地上に

壁柱の如く廣く蟠まり、又或者は地
上七、八尺の所にて十、二十に分裂

し、各個は弓形をなしつゝ天幕の如

き形をなし居れり、其形インヂヤ人
のテベースの如し、急流の一部分に

於て、余を驚かしめたる者は飛魚に

して、水上二十ヤード餘りも燕の如

く飛べり、終日勞働して僅に十キロ

メートル、最終カノアの到着せるは

夜にして暗中に天幕を張れり。

次の日は行程十三キロメートル、出

發後一時間四十分にして激流に會し

七時間を費し漸く通過せるが、カノ

アは空にて降れり、一艘は顛覆せり

陸は岩石地にして輸送なか／＼困難

なりき。

満々たる流水に棹し悠々と降るも心

地よし、曉風冷を覺へ、水雲低くか

すめる川は模倣たる森林に消え行き

間もなく燃え出す旭は金色に又は銀

色に輝き、森の綠は目醒むるばかり

アは空にて降れり、一艘は顛覆せり

陸は岩石地にして輸送なか／＼困難

なりき。

ビラミット形の岩を見たり、此邊

にもインヂヤ人の氣配ありき。

ペルモントに於けるチエリー氏の家

は六百五十エーケルを有せる農家に

して、其過半は森林なり、今激流の

轟に豚又は鹿を販賣し居れるが、今は

主に楓糖の時季なり、氏は已に糖樹

千二百本を有せるも、尙大に増加せ

ん事を希望し居れり、チエリー氏は

バ可成完全に掉り取り得るのであ

砂糖製造に就いて

紫山(五)

生

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

紫

山

● 同化が無理でせうか
「時報」記者足下、貴紙は機会有る度
毎に、同化と歸化の必要にして有利
なるを説示さるゝここには、私共も
至極同意にして、是を行らねば到底
世界生活の仲間入りは覺束ないと思
ふものでありますから、及ばずなが
ら是非之を實行したいと、常に心掛
て居るのであります。所が近頃或人の
の發表したる意見に依りますと『同
化を奨励したり、歸化を提倡したり
して、人間を遂に技巧の裡に葬埋す
ることは、移植者の裸一貫の生活に
不可能の無理強ひである』と云ふこ
とがありますが、恁な難解な文字や
言葉は、百姓の私共には一向に判り
ませんし、裸一貫の生活は何故同化
が出来ないのか之は抑々の疑問であ
ります、私共の様な幼稚な頭脳で考
へますれば、裸一貫の生活は寧ろ同
じ易く、又同化する必要がヨリ多
くあると信じますから、私共は田舎
に土抜りして居る間にも、隣のブラン
ジル人、裏の伊太利人、前の葡萄牙
人と云ふやうな人達と互に來往して
仕事の扶け合は勿論、品物の贈り貰
ひをして、共同で親密などを現すすべ
く行つて居るのであります。是が
私共に取つて非常に愉快でもあり且
つ利益でもあります上に近頃は十六
になる私の小供が外國人の小供と遊
び友達となり、此方の有つてゐる善
い所を彼方に移すと同時に、彼方の
有つてゐる善い所を此方に受入れ而
して悪い所は互に警め合ふ様にして
居るのは、到底日本内地などで見得
べからざる好現象だと眺めて居りま
す、故に私は私の経験から裸一貫の
生活は却つて其處に同化し易い所が
有つて、決して無理ではないと確
信じて居りますが、私の経験する所
が非か、或人の言ふ所が是か、足下
の明晰なる頭脳を以て判断して貰
たいですが何うでせう。(吉永生)
記者からすれば別段判断するまで
もなく君の経験が實際的である丈
に確であり且つ本紙の主張にも合
するから君の説に賛成する。(記者)

● 金よりも信用

M
R
告

慮を要する點なり金は此の世の貴品なり然故に世人は終日働くなれど金のみにて人生の至福を得るゝに有らす如何なる金満家も亦幾萬の資本家と雖も金力にて世人を制するに於ては永久繁榮を見る能はず次第に衰滅に陥るなり以上如蒙るなり世の身を起さんと思ふ者は伏せしめんと欲するは到底不可能なり強いて是れを行はんか勢ひ隣害されば人金力にて世人を司るに又は誰れか此れを拒む者あらん世人喜びべきなり信用の力にて司配なす時は是れに従ひ業の如何を問はず繁榮を觀るに至らん

の 皇 我 爵 事 年 附 胜 仕 學 球 中 附 居 と な 紹介に先だち聖州の野球に就て少
云はして貰ひたい、實はこゝでは
本人のチームは本當に出来上つて
ない、技に通する者は古くからあ
道具なども疾くに整つて居たのだ
常に顔ぶれが前つて居ない爲め現
の餘儀ない情況に在る
◇それでも去年あたりから曲りな
にも日曜毎には練習を續け米人と
數回の仕合を行つた、仕合は常に練習
成績に終つて居るが初めから優秀
技術の發揮されさうもなし第一何
も顔ぶれの變つて居るのが敗因の
つだ
◇グラウンドのないのは損な事だ
之れだけは金がなくちやオソイレ
自由は利かぬ、今は只熱心に練習
續ける事だ、米人と仕合つてドシ
シ勝つやうになればエライ人達も
して黙つて見ても居るまい
各 ◇今度ラツバにもチームが出来る
球界懲々多事だ、かうなつて来る時
を同胞間にも本當のチームらしいも
のが出来上り相だ、競技者は一層熱
持ち一般同胞も更に此技に對し一
の同情と理解を持つて聲援を惜ま
いなら當地に於ける同胞の斯技の
來は頗る見るべきものとなる
つ

送金者注音

将をな肩をのと、決ドをとが一時な不もり在がり居日し

Empreza de Terra e Colonização Costina

Dr. Labieno da Costa Machado
Rua B. Itapetininga, 13-A, S. Paulo

ガルサ殖民地
ノロエステ線ブレシデンテアルベス驛
御申込ありたし
明細書御希望の方は御通知次第
送呈します

ピラボジニヨ殖民地
ソロカバナ線サントアナシタシオ驛
代理 人 コスチナ土地殖民會社
矢崎節夫
カキ Postal, 296 S. Paulo

藤崎商會

東京本店 赤坂區溜池町廿三
支店 リオデジャネイロ
サンバウロ支店 ベルナンブー
Rua S. Bento No. 38-A
Tel. Cent. 2788-Caixa, 344
S. PAULO

FUJISAKI & COMP.

種各品本日

聖波羅土地木材殖民會社

◆當社は水質良好、氣候溫和にして珊瑚其の他の全作物に適する
肥沃なる絶好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を
廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す。
◆當社は既に千八百家の各國人を有し、其中四百家の日本人
植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり
尙詳細は左記宛御照會ありたし

ビリグイ代理人 宮崎八郎
Est. Birigui L. NOROESTE

リオ大支店
Rua Candelária, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro

日本貿易株式會社

聖市出張所
Rua Quintino Boa Vista, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo

帝國海軍の大偉觀

◇戰闘艦加賀、土佐は十月中旬に進水◆

▲帝國海軍が大正九年から十六年タ機と略同型で最も進歩したものまで八ヶ年繼續事業として計畫した

▲八艦隊の中堅主力たる超弩級戰闘艦『加賀』(神戸川崎造船所建造)『土佐』(長崎三菱造船所建造)の二隻が竣工して愈々十月中に進水される事

▲超弩級艦は日下建造中であります。各主要部分を悉く複重式な砲十乃至十二門を具へて、重量一噸の砲弾を發射する大威力を持つて居る。

▲新式『ギア、ターピン』を備へて三十三浬の快速力を有し、主力砲七十數三萬九千、長さ七百呎、幅百呎

▲加賀、土佐に對比される巨大な威力を有する軍艦は無い。兩艦とも

▲新式『ギア、ターピン』を備へて三十三浬の快速力を有し、主力砲

七十數三萬九千、長さ七百呎、幅百呎

▲加賀、土佐は十月中旬に進水◆

▲東京朝日新聞は閣議及び外交調査會

▲華府會議全權代表

▲憲法研究會

▲工場音楽

▲速力の大競争

州統領ワシントン、ルイス氏及農務長官エイトル、ヘンティヤード氏は過日リベイラ流域視察に際し桂植民地に上陸の豫定を有せざりしが歸路同様民地をも視察する事となり二十日州立植民地バリケラ、アツスクを視て午後五時イグアベ港に戻るや同町婦人連の郡會堂に於ける茶會の招待を受け断はり直に船をリベイラ河に進み桂植民地前に停船して夜を過ごし翌二十一日午前七時植民地本部に上陸し諸所の視察を爲したり

州統領の此視察に關し二十三日の半官報コレオ、パウリスタノは左の如く報道せり

『一昨二十一日午前七時州統領一行はデブゲーラなる日本人植民地を訪ふべく上陸したり

同植民地は千九百エクタールにして之を三十二區に分ち三十家族之を所有し米、甘蔗、マンヂオカの栽培に從事せり

昨年度の米收穫は三千袋にして甘蔗及マンヂオカの栽培亦盛んなり、植民地には精米機、ピング製造機、マンヂオカ粉製造機各一臺及製糖場一箇所あり茲にて製せられたる粗糖はレヂスロへ送り精製す

學校は男女各一校あり前者にはザシヤリアス氏後者にはエスキヴエル娘教鞭を執る、校舎は高木にして風景佳き場所にあり、州統領一行は教師及六十四名の生徒に迎へられたるが生徒の伯國々歌合唱は大に參觀者に好感を與へたり、次いで州統領は女子部の教授を參觀しエスキヴエル娘より今年三月入校の一日本女生徒、昨年入學の日伯人各一名及上級の日伯人各一名の學業成績を紹介せられ其良好なるを嘆賞したり

州統領一行は伯國唱歌を唱ひながら送り来る生徒に別れて船上の人となりたり』

●ロツクフエニシテ
看護三
日本(ほんぱに)の農業(のうぎょう)、工業(こうぎょう)、商業(しょうぎょう)の三業(さんぎょう)を統合(とうごう)する陳述書(じんじょしょ)を提出(しゆつ)した。この公(こう)式(しき)は、總て米國式(べいこくしき)のものである。

●農工商業(のうこうじょうぎょう)会(かい)の主張(しゅそう)は、

- 1. 地主(ちしゆ)の立場(たちば)から、地主(ちしゆ)の立場(たちば)で、地主(ちしゆ)の立場(たちば)を守(まつ)る。
- 2. 地主(ちしゆ)の立場(たちば)から、地主(ちしゆ)の立場(たちば)で、地主(ちしゆ)の立場(たちば)を守(まつ)る。
- 3. 地主(ちしゆ)の立場(たちば)から、地主(ちしゆ)の立場(たちば)で、地主(ちしゆ)の立場(たちば)を守(まつ)る。

●海興(かいこう)重役(じゆやく)龍江(りゆうこう)は、

- 1. 海外(かいがい)興業(こうぎょう)株式(かぶしき)會社(かいしゃ)の各(かく)種(しゆ)の幹(かん)事(じ)を務(む)め、
- 2. 海外(かいがい)興業(こうぎょう)株式(かぶしき)會社(かいしゃ)の各(かく)種(しゆ)の幹(かん)事(じ)を務(む)め、
- 3. 海外(かいがい)興業(こうぎょう)株式(かぶしき)會社(かいしゃ)の各(かく)種(しゆ)の幹(かん)事(じ)を務(む)め、

●イグニア(イグニア)は、

- 1. 小倉(おぐら)小(こ)次(じ)郎(ろう)氏(し)を、
- 2. 小倉(おぐら)小(こ)次(じ)郎(ろう)氏(し)を、
- 3. 小倉(おぐら)小(こ)次(じ)郎(ろう)氏(し)を、

●ノエヌアライ(ノエヌアライ)は、

- 1. 月(つき)十八(じゅうはち)日(ひ)同(とも)港(こう)益(えき)伯(はく)國(こく)支店(しじてん)長(ながま)加(か)藤(とう)益(えき)一(いつ)氏(し)を、
- 2. 月(つき)十八(じゅうはち)日(ひ)同(とも)港(こう)益(えき)伯(はく)國(こく)支店(しじてん)長(ながま)加(か)藤(とう)益(えき)一(いつ)氏(し)を、
- 3. 月(つき)十八(じゅうはち)日(ひ)同(とも)港(こう)益(えき)伯(はく)國(こく)支店(しじてん)長(ながま)加(か)藤(とう)益(えき)一(いつ)氏(し)を、

ノー研究所は伯爵夫人の研究室で、婦人養成所を提出して居る。この研究室は、婦人教育の第一歩として、婦人教育の研究と実践を行っている。婦人教育の研究には、婦人の社会的立場、婦人の教育権利、婦人の教育方法などがあげられる。婦人教育の実践には、婦人の就業、婦人の家庭生活、婦人の社会活動などがあげられる。

スアイレスでも浦環女史が上り、イレスよりの通りに於て例のマダラントン船へ乗り、アエノスへ到着した。同市一流の劇場で演じた。間には三度も演じた。地なき盛況を呈した。以上の成功を祝して開催し、浦環女史が公使館に於て人への歸朝を機会として亞國朝野の紳士たちに賜物を贈り、載移船民數は左の如くである。

●ミカドへ寄附
吉、山口源九郎
しまカド運動俱
寄附したり
●對了野球延期
の筈なりしミカ
試合は先方の都
來月中旬に行は
●結婚式と披露
虎尾氏と東條桂
日本俱樂部に於
れたるが來會者
三十餘名の多數
して云ふ

●出産 本社の
去る廿八日午前
命名し母子共
●坂元精氏 リ
十七日朝歸聖甘
リベロンへ歸宅
●橋本蒼氏 タ
日夜行にて新夫
由歸國の筈なる
相談會開催を發
車にて當地出發

●同 同 日
●同 同 日
●同 伯
●同 同 日
●同 伯
●正十年九月
大正十年九月
發金者 日

去る二十五日
旭橋民地の渡
ド對アルモール
兩氏は此程出
樂部へ金二十三
合に依り延期
れん

人
村松山佐久佐工伊堤清佐藤谷野藤外水木村中大藤
瀬岸藤野藤藤井齋藤藤井齋藤
親戚友人
翁長
S. Hisegawa
Caixa Postal
S. Paulo

